

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金(推進交付金・拠点整備交付金)事業 平成29年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

※評価方法については、別紙「事業効果検証・評価について」をご確認ください。

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費(決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		(12) 推進本部の意見		
						指標	基準値 H28年度	指標値 H29年度	実績値 H29年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見			
											評価						理由	
30	五泉ニット製品開発事業(基礎)	商工観光課	基礎	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。試作品の製作、イタリアでの評価、イタリア企業との仮調印を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降は「五泉ニット地域ブランド化事業」として継続支援。	・現在の様々な取り組みや方向性は正しいと思われるが、KPI1実績値としては伸びが見られていないため、粘り強く継続した取り組みが必要と思われる。現在実施している様々な取り組みが成果として現れることを期待したい。	・H29年度から五泉ニットブランドのロゴマークを活用して、アパレルの許可を得たところに付けている。一般消費者にマークを知っていただき、マークの付いた商品を選んでもらえるよう取り組み、売り上げにプラスになるようにやっていく。	・生産額の評価について、数字上は確かに目標値の95%以上となっているが、上昇を目指しているにも関わらず、基準値を下回っている。要因の検証が必要と思う。「現状を考えれば減少もやむなし」「できる限り下降勾配を緩やかに」ということであれば、目標値の変更が必要ではないか。			
	五泉ニット製品開発事業(上乘せタイプII)		上乘せタイプII	H27年度に五泉ニット組合が実施する五泉ブランド化を支援。計画策定のため委員会を開催、視察研修を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。										・ニット従業員数について、年齢の構成で、50歳以上が65%を占め、20歳代が3%程度とのアンケート結果がある。人材確保において、小中学生の工場見学等により将来ニット業界に動いてもらえるよう期待する。また、地元で理解してもらいたい。	・五泉市の企業は作る技術は素晴らしいが、売る技術が少し遅れていると思う。越境ECに取り組むとか、SNSを活用するところをもう少しうまくやれば、産業の活力が少しは上がってくるのではないかと。	
31	五泉ニット地域ブランド化事業(加速化)	商工観光課	加速化	平成28年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指す取り組みに対して支援。品質基準を満たしたニット製品の開発、次世代を担う人材育成のための技術訓練を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H29年度以降も継続支援。	・ロゴマークの作成や展示会への出店、組合HPでのネット販売開始など、ブランド化の推進や、消費者へのダイレクト販売を拡大する取り組みはKPI1・2への寄与が期待されるため、継続した取り組みが必要である。	1 本事業は五泉市総合戦略のKPI達成に有効であった。	・五泉ニットの直接購入できる拠点となる場所(店舗)の確保と周知が必要なのではないか。(五泉市内で購入可能な場所が少ない)			・好評である工場見学のルート内に商品を購入できる機会を設けるなど、販促活動を実施・強化することができるのではないかと。
	五泉ニット地域ブランド化事業(推進(横展開タイプ))		推進(横展開タイプ)	平成29年度に五泉ニット工業協同組合が実施する五泉ニットの地域ブランド化を目指し、人材育成事業、地域活性化事業、市場・販路開拓事業及び広報・PR事業に対して支援した。交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	12,080	1. 産地でのニット生産額	118億円	121億円	116億円	未達成	B 相当程度効果があった。					交付金活用事業。 H30年度以降も五泉ニット工業協同組合への支援を継続し、国内外に認知される産地ブランド化の確立を目指す。 ①人材育成事業 ②地域活性化事業 ③市場・販路開拓事業 ④広報・PR事業	・「五泉はニットが良い」と紹介すると「どこで買える?」となり返事ができない。ニットの紹介・販売する場所を確保し、観光に繋げてはどうか。将来的に非常に期待が持てる事業だと思う。	

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略
地方創生推進交付金(推進交付金・拠点整備交付金)事業 平成29年度検証シート

シート No. 交付金活用事業

※評価方法については、別紙「事業効果検証・評価について」をご確認ください。

(3) 事業 No.	(4) 事業名	(5) 主担当課	(6) 交付金	(7) 実施状況	(8) 事業費 (決算額) 単位:千円	・交付金申請におけるKPI						(9) 次年度以降の事業計画について	(10) 数値目標・KPIの達成に向けた事業の改善点・方向性等	(11) 外部有識者の意見		(12) 推進本部の意見			
						指標	基準値 H28年度	指標値 H29年度	実績値 H29年度	達成状況	事業終了後における事業効果			評価	意見				
											理由								
47	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (基礎)	商工観光課	基礎	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。新商品2点の開発を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。						交付金活用のH27単年度事業。 H28年度以降も継続支援。				・販路を開拓中ということで、一番重要であり、困難な作業であると思われるので、マネジメントのプロの雇用を検討してもよいのではないかと。			
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (上乘せタイプⅡ)	商工観光課	上乘せタイプⅡ	・H27に五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。食品・化粧品原料としての品質・規格確立を行い、事業終了。	—	平成27年度事業のため、平成28年度に検証済み。													
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (加速化)	商工観光課	加速化	・五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ商品開発に対する支援。機能性原料としての確立、特許取得を行い、事業終了。	—	平成28年度事業のため、平成29年度に検証済み。						交付金活用のH28単年度事業。 H29年度以降も継続支援。	・桜アロマ工房が完成し、1年を通して立ち寄れる休憩所(おみやげの販売やカフェ)として徐々に品ぞろえを増やしている。現在はアイスクリームやコーヒーの販売。今後は桜関連や地元特産品を使用したお菓子などを開発し提供する予定である。	「五泉は花シリーズがあります」と紹介するが、シーズンが終わると紹介するところがない。観光に繋げることが必要。将来的に非常に期待が持てる事業だと思う。	・改善点・方向性の欄に記載があるように、工房が完成して1年が経過した。今後も施設の整備を進めていくと思うが、今の工房のイメージが工場的に感じてしまう。 建物だけでなく、建物周辺の植木等の整備をすることで、居心地のよい空間や雰囲気を作り出し、桜の癒し効果(販売商品)とイメージが重なり、もっと素敵になると思う。				
	The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (推進(横展開タイプ))	商工観光課	推進(横展開タイプ)	・(一社)五泉市観光協会が実施するごせん桜アロマ事業に対する支援を行う。 交付金対象事業費 10,735千円 ・市場調査、PR活動、学会等への出展 4,535千円 ・癒し効果の評価、抗腫瘍物質の確認実験、成分分析 6,200千円 交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	14,833	1. 桜アロマ機能性原料及び商品の総売上高 300千円	7,800千円	1,069千円	未達成	C 効果があつた。	観光客入込客数については、最大の集客ポイントである春の花シリーズにおいて、天候不順のため開花と休日のミスマッチとなり集客に繋がらなかった。 総売上高と雇用創出数については、ハンドクリーム・ジェルの販路確保ができなかったことや、桜カレーの販売は行ったものの、その他の桜関連商品の開発が進まなかったことによるところが大きい。 H29年で準備を進めH30年4月にオープンした「ごせん桜アロマ工房」で2名の職員雇用が生まれ、ソフトクリームやジェラード、香り袋などの商品が開発されてきており、僅かではあるが前進が見られている。引き続き販路の確保と桜関連商品の市内事業所での展開を進めなければいけない。 また、このたびの結果を踏まえるとKPIが過大設定であると判断できることから、精査して見直しを行う必要がある。					交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者として運営する「ごせん桜アロマ工房」を活用しながら継続的に事業を推進する。	・桜アロマの商品も増やし、アメニティなどは販路を開拓中(JAL、プリンスホテル等)である。 ・施設の設備(カフェとしての機能やアメニティの充実も含む)が整うことによって、桜の季節だけでなく通年楽しめる新しい観光拠点として活用していけるとされる。	・売り方として、五泉アロマについて、クラウドファンディングの購入型を活用する方法もある。もし集まればヒットだとなる。 また、各地域金融機関・地方銀行で連携して各地の良いものを発信していくという支援をしている。関西地区など近県以外の商談に出向き、市場の反応を見ることも含め、有効ではないかと。	・未達成の理由が天候不順では本事業としての検証がないのではないかと。 ・KPIについては、商品売上高などあまり達成されていない。引き続き、事業の改善点・方向性等に基づく取組の推進が必要と考える。 なお、現在のKPIに加え、施策を通じての新たな商品化や新ビジネス展開などの成果を測るためのKPIの追加についても検討が必要と考える。
The Gosen brand ごせん桜アロマ事業 (拠点整備)	商工観光課	拠点整備	H28→H29の繰越事業 ・五泉市ごせん桜アロマ工房を建設。 施設概要:木造平屋建て鋼板葺き 1棟 床面積213.5㎡、低温真空乾燥室、冷菓製造室、売店、事務室等 交付金対象事業費 116,223千円 交付金申請におけるKPIは右のとおりとなった。	137,316	1. 桜アロマ機能性原料及び商品の総売上高 300千円	7,800千円	1,069千円	未達成	C 効果があつた。			交付金活用事業。 H30年度以降は、(一社)五泉市観光協会が指定管理者となり、当該事業の拠点施設として工房を活用し事業の進捗を図る。	・この施設や商品をPRするためには、メディアなどへの露出を増やすことが重要。インターネットやSNSでもっとPRしてはどうか。	・新潟県において観光産業というのは重要な位置づけになってくる。観光をうまくいかせるために、各組織が連携して企業体を作るDMOを五泉市でも検討してもいいのではないかと。	・さくらアロマの知名度、売り上げを向上させるためには、幹事会、市民検討委員会で「販路を確保することが重要である」と意見が出されており、売上向上に有効であるため、現在開拓中の販路について現実のものとなるよう取り組んでいきたい。 また、マネジメントのプロの雇用について検討してみてもよい方法であるため検討してみてもよいのではないかと。				
					2. 桜アロマ事業化による雇用創出数 0人	2人	0人	未達成											
					3. 観光客入込数(基準値H26) 742,000人	786,400人	640,120人	未達成											